

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

日時	令和7年12月25日(木) 13時30分～15時00分
場所	佐用町役場本庁 西館2階 防災会議室1
出席者	<p>【委員】増原直樹、藤本正文、尾崎貴之、間嶋禮次郎、久保正彦、合田裕宣、高見國一</p> <p>【事務局】江見町長、住民課 福岡課長、新井所長、川中</p> <p>【国際航業】福田、小西、黒田</p>
配布資料	<p>(事前配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1:計画書素案第1章～第2章(現況の排出量)</li> <li>・資料2:計画書素案第2章(将来推計)～第5章</li> <li>・資料3:資料編</li> <li>・参考資料:アンケート調査結果(住民意見カテゴリ別)</li> </ul>
議事内容	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>委員</p> <p>受託者</p> <p>委員長</p> <p>受託者</p> <p>委員長</p> <p>受託者</p> <p>委員長</p> <p>受託者</p> <p>町長</p>	<p>～略～</p> <p>(1) 前回の振り返り(資料1・参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章 計画の基本的事項</li> <li>・第2章 温室効果ガスの排出状況(現状)</li> <li>・アンケート調査結果</li> </ul> <p>資料1・参考資料に基づき受託者(国際航業)が説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林吸収量が年々減ってきているということだが、これは説明文にあるように原因は森林面積の変化というよりも樹木の高齢化がメインという理解でよいか。</li> <li>・そのとおりである。</li> <li>・ということは、樹齢をざっくりと把握しているということか。佐用町の中でどのような分布になっているか等。</li> <li>・佐用町には森林ビジョンというものがあり、そちらで樹齢などの検討もされているため、町としては把握している。</li> <li>・森林吸収量を増加させることを考えると、この森林保全管理を強化するということはもう少し具体的に言う必要があり、間伐や高齢化し過ぎたものを1回切って植林するということが必要なのか。</li> <li>・民間の森林保有者の手が付けられていない部分については町有林化する取り組みも目指されているという話も伺っている。</li> <li>・森林ビジョンなどを引用しながら森林吸収量を増やすということか。</li> <li>・そういうことになる。</li> <li>・1～7ページ、一番下に太陽光のメガソーラーの写真があると思うが、左側の写真はあえてこれを選んでいるのか。施工途中のような写真のため気になる。</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直して、よりよい写真があれば差し替えていただきたい。</li> </ul> <p>(2) 今回の議論について(資料2・資料3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2章 温室効果ガス排出状況(将来推計)</li> <li>・第3章 温室効果ガス削減目標</li> <li>・第4章 温室効果ガス排出削減の資する取組施策</li> <li>・第5章 計画の推進方法</li> </ul> <p>資料2・資料3に基づき受託者(国際航業)が説明</p> <p>第2章 温室効果ガス排出状況(将来推計)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状すう勢のグラフで、佐用町は今の人口から確実に減っていくが、その人口減少が想定よりも多い場合は、何もしなくても CO<sub>2</sub> 削減の数値は上がっていく。佐用町の面積から人が減るため。</li> </ul>
受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3の資料編8ページ、表1-12に、現状すう勢で排出量を将来推計した元のデータがある。左側に産業部門や業務その他部門といった形で部門別に分かれている。計算上だが、産業部門の製造業での電気使用量が2013年から2022年までは増えてきている。当然この2013年から2020年の間に年数ごとのプロットはしているが、これらを推計して今後どのように増減していくかという形で推計している。電気の使用量を今後できるだけ抑えていくため、6,765という数字がずっと同じような形で推移していく、これを根本データとして見ている。</li> <li>・たとえば、次の建設業・鉱業では従業者数を指標として見ている。2013年の1,040人の従業者数に対して、2022年度の段階では613人まで減っている。これがさらに減っていくとなると CO<sub>2</sub> も減っていく形になるため、これも同じ推移で従業者数は現状と同じ推移で変化していった場合という形で見ている。</li> <li>・家庭部門は世帯数を指標として見ている。世帯数は2013年度で7,061世帯であったものに対して2022年度は6,850世帯になっている。しかし、この後の世帯数は減っていくと見ている。根拠としては、町の人口ビジョン計画の推計に合わせた数字を採用させていただいている。</li> <li>・運輸部門の鉄道は人口を指標として見ている。2013年の18,903から2022年には15,499まで減っている。これも今後は人口ビジョンに基づき、2050年までの推移として、この計画にある数値を採用させていただいている。これらを指標として、計算上当てはめた場合にどう推移していくかという形で計算し、一番大元の資料になっているとご理解いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見せ方として数字の羅列だけになっている。これは地球全体の話で、たとえばヨーロッパはどれくらい、アメリカはどれくらい、東南アジアはどれくらい、その中で日本はどれだけあるという話で、日本がすごく排出しているという見せ方ができるのではないか。そうした方がデータとしてはわかりやすいのではないか。</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所としてここでは町の話をしているため、今のご提案はもう少し前の第1章に国際的な動向などがあり、ここが割とSDGsとパリ協定であっさりしているため、今のご提案のような、世界全体の排出量の中で日本は5番目に多く、3%と割合としては非常に低く見えるが人口で見ると世界人口3%もないため、平均よりは2倍近く出しているといった国別のデータがほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人口が少ないのであれば、そんなにやってもあまり影響はないだろう」と思ってしまう。そこを「いや違うんだよ」という見せ方ができないか。</li> </ul>
受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。1-4ページ目、国際的な動向のところでは世界的な排出状況などを追加させていただく。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ数は膨らむが適切な図表を追加していただきたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐用町が2050年までにどのような変化を遂げるのかは難しい予測である。大ざっぱに言うと、産業、業務、第1次、第2次、第3次産業については、どれくらい電気を使うか、従業者がどれくらいになるか、あるいは製造品出荷額などの予測が難しいため、とりあえず2020年度も全部固定でやりましょうというのが私の理解である。一方、人口や世帯数についてはビジョンがあり、自動車保有台数やごみ等についても、今までの傾向からある程度予測がつく。人口世帯に比例して動くため、その部分はこれも実際にはどうなるかわからないが、人口ビジョン等に基づいて変化するものだという2通りの考え方がミックスされているということ。おそらく、これはこういうやり方しかないため、ひとまず仮置で進めさせていただきたいがよいか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状すう勢で特段の対策をしない場合、たとえば後で出てくる新築住宅のZEH化などは今年から義務化されているわけで、それは町の対策云々よりも国としてそういうふうになってきているが、それも考慮・加味されていないということか。</li> </ul>
受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状すう勢では加味されていない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこも実態とは少し離れてきている。佐用町では10件程度ということで、そんなに大きく影響はしないと思うが、この現状すう勢は、こういうことを一応出さなきゃいけないためこういう計算をしているが、結構いろいろな限界があるということ。ここは少し留意点。その上で、2-5ページの脱炭素シナリオの表2-4でどのような対策をすればどれくらい削減できるかの計算があるが、パッと見てイメージが付きにくい。あまりごちゃごちゃ書くと余計見にくい。たとえば業務その他の省エネ設備の更新などは削減量が多いが、これはどのようなものがあるか等、もう少し書けないか。他にも次世代自動車にはどのようなものがあるか等、もう少し例示があると少しマシではないか。あまり行数を増やすと見にくくなるが。</li> </ul>
受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「省エネ設備」という形で非常にざっくりしているため、高効率空調設備や、照明はLEDにする形はどうか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あるいは上の文章に「高効率の設備」とあるので、そこにもう少し空調や照明について括弧書きで追加していただく。表よりは文章の方がよい。</li> <li>・承知した。</li> <li>・「削減要因」という言葉はこれで合っているか。下の表では「省エネ対策」となって</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

受託者	<p>いる。文章表現を統一していただきたい。「省エネ対策」があって「具体的な取組としては」という形か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>
委員	<p>第3章 温室効果ガス削減目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごく厳しい数字に見えるが大丈夫なのか。佐用町がこれをやるということであればそれはよいとは思いますが、たとえば3-1ページでは新築住宅は今まで17棟となっているが、これからもずっと17棟建て続けられるのか。実際に公共施設に100%太陽光を乗せるのかということを確認できているのか。</li> </ul>
町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電については設置可能な建物についてのみ設置するため、今あるすべての建物に設置することは考えていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ということは、そういう書き方をしておかなくてはならない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物に対し太陽光発電を採用するのはもちろんだが、このパーセンテージを変えてしまうと100%ですべての建物という意味にと捉えられないため、パーセンテージは削除して「設置可能な建物に対して太陽光発電を推進」という表現に改めたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画などは KPI を持ち、何年目でどのくらいという形でやるが、スパンが長いといえ100%なんてあり得ない数値ではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置不可能な建物も入れると100%ではない。</li> </ul>
町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも前町長も、新しく建てる建物は太陽光パネルを屋根に乗せる設計にするため、その設置は今のこの環境に貢献するためにもしていくべきだろうということで、最近で言うと「味わいの里 三日月」にはすでに太陽光パネルが乗っている。既存の元々そういう設計になっていない建物にするのはよくないと1級建築士も言っている。それは常に言われてきたため、1981年以降の新耐震基準になっているからといって、そこに100%設置していくことは現実的には無理ではないか。新聞報道でも高市総理がメガソーラーについて後退的な発言もされているため、太陽光の話は厳しいのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐用町にはすでにメガソーラーが2つあるが、それを差っ引くことはできないのか。これから先どんどんやっていかなければならないものなのか、ある程度目標を多少達成しているのか。あまりこれから先のことばかり言うと、どんどんしんどくなっていくような気がする。特に計画に上げてしまったら、もうやらざるを得なくなる。佐用町としてやれる範囲があると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな可能性は否定せず、可能性は残しながら現実的な目標を上げていくのがよいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう一度、精査をしてもらいたい。</li> </ul>
町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからどのような技術が出てくるかわからないため将来的なことは否定しないが、今の技術でいうと難しい。ペロブスカイトなどがもっと廉価になって設置できるようになれば状況は変わってくるが、なかなかそれもすぐには考えにくい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年ほど前に家に太陽光発電を設置したが、当時は48円だったが、5年ほど前には8円になった。今では自分のところの電気を賄う程度。当時、400万円かけて設置したが儲けが不足し12年前に200万円で増設をした。それが結局、5年前に8円に</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

町長	なってしまったので、あまりよい方法ではない。
委員	・最初につけられた太陽光パネルは、壊れたのか。
委員長	・京セラ製。今は海外製のものが多いがあれはよくない。
	・価格競争で国産のものはほとんど競争力がなくなってしまった。24年前にはほとんどやっていた。それでもまだパネルが使えている。
委員	・3-1ページの表3-1、既設住宅と事業所には「アンケート結果を参考にしている」と根拠が記載されており、新規住宅の場合は口頭で「国の方針」との説明をいただいた。それも記載した方がわかりやすいのではないか。
	・3-4ページ、2040年度までにカーボンニュートラルを達成するという点で非常にインパクトがあるが、全国的に見てこれは注目を浴びるような数字なのか、それともよくある話なのか。
受託者	・全国的に見てまねな数字で非常に前向きな目標設定になっている。他の自治体では2050年までにというところが多い。自然豊かな町をアピールしていく意味も含めて前倒しにしている。全国や兵庫県下の中でもまだ珍しい方になっている。
委員	・そうであれば強くPRした方がよいのではないか。
委員長	・受託者と別の市で作業をした際に2040年度カーボンニュートラルの話が出たが、そこではなかなか難しく2050年に落ち着いたという経緯もあり、私の知っている限りでは県下でも全国的にも珍しい。逆に、なぜ2040年にカーボンニュートラルできるのか、その内訳や道筋が重要になってくる。メディアも含めていろいろ問い合わせも受けると思う。そのため、根拠をしっかりとっておかなければ看板倒れ、絵に描いた餅になってしまう。それでは困る。そういう意味で太陽光発電も昨今いろいろな問題があるが、とりあえず建築物に限定して、これだけの数字を(100%等の表現は少し置いておいて)積み上げていただいたことはありがたい。逆に言うと、土地に置くにはいろいろな問題もあり、森林を切り開くのは言語道断であるため、そういったものに頼らず、まず建築物にきちんと置いていくという方向性で理解した。削減目標については脱炭素シナリオを基本的に引き継いで、それプラス、再生可能エネルギーの導入と森林吸収量も加味して、この方向で検討していければと思う。細かいことを申し上げると、西播磨グリーンセンターも建て替え等があるかと思うため、2050年まで同じ数字を引っ張ってよいのかが難しいところではある。しかし、そこでゼロにするのも不自然なため、西播磨が建て替えとなっても同規模の努力をしていただくという希望的な数字なのではないか。そこまで無理はしていない数字だろうと思う。
委員	・3-1ページの数値を考え直すのであれば、2040年カーボンニュートラルという目標も変わってくる可能性があるということか。
受託者	・3-1ページの導入規模の数値は記載のパーセンテージを導入した場合の数値になっている。2030年までに50%、2040年までに100%というのは、国のロードマップの中で自治体も含めてこういった表記になっており、他の自治体もこの目標に向かっていく。具体的な数字を出さない目標にするという方法もあるが、根拠として持っておく必要がある場合は、50%100%は示したほうが逆によいのではないか。補記として「国のロードマップの中では2030年までに50%、2040年までに100%」

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

委員長	<p>という形でお示したほうがよい。国の方では再生可能エネルギーの太陽光発電はそういう形の書き方になっている。県も同様はず。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県は2030年までしかないが、50%以上。現在改訂中だが一応数字は出ている。「設置可能な建物」というのをきちんと出すということと「国の計画に準じて」ということを示す。</li> </ul>
委員 町長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックデータはきちんと持っておかなければならない。</li> <li>・2030年までに50%は難しい。その辺りをもう少し調整したほうがよい。</li> <li>・ロードマップに出ているが佐用町ではどこまで近づけるか。自分で自分の首を絞めることがないように。</li> </ul>
委員 町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町として無責任なため、それは避けたい。</li> <li>・そう理解していただける方ばかりであればよいが、この表現だけを見て「やってないんじゃないか」という厳しい声がどうしても出る。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅は1軒あたり約5.1kWで、これも全国的に見るとちょっと広い。全国平均は4kWほどのため、佐用町の住宅は少し大きいということになると思う。事業所や公共施設はそれぞれ大きさが違うが、だいたい屋根の半分程度など、設置する広さや設置の方角などの目安はあるのか。</li> </ul>
受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の屋根についても屋根の面積そのままを使っているわけではなく、室外機などのことも考慮し、余裕率をみて屋根総面積の3割くらいに控えめに設置することを想定している。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設が目立つということであれば、事業所と公共施設を一緒にして、数字をもう少し精査していただきたい。町の中でのご判断もあると思うが、見直し、精査を行っていただきたい。その上で、多少は今の目標も少しずれてくる可能性がある。公共施設の再編計画もあると思うが、方向性としては他の自治体を見てもやはり避難所になるようなところに太陽光発電を設置して、災害時の電力系統が使えないときでも、たとえば携帯を充電するといったこともできると思う。蓄電池も大分値段が安くなってきている。そういったものでレジリエンス、災害対策としても機能する。かつ、そういうものには国の補助金があるため費用面でも有利。</li> <li>・公共施設の太陽光発電の導入のところを少し保留、精査をしていただくという条件で、目標もそれに連動して2040年カーボンニュートラルが本当に達成できるかどうか、次回再確認させていただきたい。</li> </ul>
町長	<p>第4章 温室効果ガス排出削減の資する取組施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4-21ページ「うちエコ診断」についての誤字。下の方では「ひょうご環境創造協会」となっているが、真ん中の方では「ひょうご県境創造協会」になっている。</li> <li>・目標設定にかなり無理がある。たとえば補助金関係でいうと、町が単独で ZEH・ZEB 等に対して補助金を出すのはまず不可能。そのため「補助金を検討します」という表現が複数あったと思うが、書きぶりはかなり注意する必要がある。「国や県の補助金を合わせて」等、何か書かなければ。町単独では100%無理。</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に何回「講習会をやります」「広報さように掲載します」とあるが、佐用町の職員はそんなにたくさんいるわけではない。講習会などは1回すればずっとやらなくてはならないことになる。自分たちがやるとして目標設定をしなければならない。他人ごとではないので。そこはもう一度精査して、本当にできるのかを考えていただきたい。「広報さよう」にしてもこんなペースでやっていたら続かない。毎月ずっと何か載っていて、紙面も限られているので、広報さようだけでなく「ホームページまたは広報さようで」と、ある程度の幅を持たしておかなければ、かなり目標として厳しすぎる。ここで答えは出ないと思うので、受託者と担当課でもう一度検討し直してほしい。それは太陽光や2040年カーボンニュートラルも含めて。そこを直していくことによって、2040年カーボンニュートラルというのも変わってくると思う。その結論部分も踏まえて厳しく見てほしい。できないことは書かない方がよい。戦略的な目標くらいまでであればよいが、絶対無理だということは書けない。</li> <li>・専門的な言葉が多いため用語集を付けてほしい。ZEH・ZEB など、コラム内で説明されているものもあるが、コラムに出てくる前にその言葉が出てきているというのが多数ある。コラム内で説明した言葉については「何ページのコラムをご覧ください」という形にしてもよい。</li> <li>・4-50ページ、ごみの減量目標は何かに基づいて出した数値なのか。たとえば、ごみの総排出量について、4,939が2030年には3,691になる目標だが、これは何に基づいているのか。一般廃棄物処理基本計画に基づいているということか。</li> </ul>
<p>受託者 町長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理基本計画に掲げられている目標数値になる。</li> <li>・承知した。とにかく取組目標のところをもう一度しっかり見直していただきたい。</li> <li>・4-44ページ「公共交通機関を利用しましょう!」について。町の率先的取組のところではいくつかカットされた部分もあって、それはそれでよいが、町で片道切符の助成や大学生の通学定期の購入助成など、公共交通機関を利用しましょうという取り組みはすでにやっている。それはぜひ載せてほしい。</li> <li>・4-45ページのコラムで「自家用車からバスへ」となっているが、佐用町にはバスがほとんどない。このグラフはバスに限った話なのか。</li> </ul>
<p>受託者 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスも航空も鉄道もあるが、バスから鉄道に切り換えさせていただく。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の小中学校、学校現場の代表ということで来させてもらっているが、今の取組施策を見ている中で学校としてどのように関わっていくことができるのかを考えていた。具体的に「学校はこのようにしていく」という表記があるとよい。学校の授業の中で環境に関することもしているため、そこへ出前授業をしてもらうとか、そういう活用の仕方もできると思う。何より思うのは、子供が学習したことを家に帰って家の人に言う、そうしたら(前回も課題としていただいたが)若い人や親世代の関心も高まってくるのではないかと。さらには地域に広げていくことも1つの手段としてできるのではないかと。</li> <li>・先ほど町長がご指摘いただいた4-21ページの「うちエコ診断」について。これはひょうご環境創造協会が窓口となって、無料で、あるいは自分でオンライン診断ができ</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

	<p>るが、これの子供向けのアプリ「うちエコキッズ」がある。今うちの学部の別の先生が権利を持っているがその先生が退職されるため、私の方に権利を譲渡していただくことになり、創造協会からもリンクが飛んでいるはずである。子供向けにゲームなども入れながら、うちエコ診断に近いことができるようになってきているため、ぜひコラムに入れていただきたい。なおかつ学校現場でも使っていただいて、模擬授業となるプログラムもリンク収納されているためご活用いただき、「もっとこういうふうにしてほしい」といったご要望があれば開発者につなげる。コラムが長くなるが、キッズ版も取り上げていただきたい。兵庫初で取り組んでいる。</p>
町長 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は今もクリーンセンターの見学に行っているのか。</li> <li>・4年生、5年生で基本にごみ処理の見学は必須に近い形でやっている。私もあそこの環境保全委員会のメンバーのため毎年行くが、アクセスがなかなか難しいところがある。クリーンセンターの下に「ひょうご環境体験館」という県の指定管理施設があるが(そここもご紹介いただいているが)かなり入場者数が伸び悩んでいる。昔はバスの補助を出していたらしいが、ぜひクリーンセンターとセットで行っていただきたい。</li> </ul>
委員 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔からクリーンセンターと自然学校はセットで行っている。</li> <li>・町内にある施設のため、ご活用いただけるとありがたい。</li> </ul>
町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座はご要望があれば職員が行くが、町としては学校の忙しさを考慮して、あまり押し売りはしないようにしているため、逆に希望があればぜひお声がけいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かにいろいろあって忙しいが、今は授業の中で必ずやろうということになっている。上手く絡められたらよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-28ページのコラムについて。以前、積算したときはPPAの方が電気代が上がるという結果が出たことがある。だから、一概に削減できるとは言えないのではないか。その辺りはどういう考え方をすればよいのか。コラムとして挙げた以上、具体例として捉えられるため、表現の仕方などを考えた方がよいのではないか。</li> <li>・KPIの目標数値が出る以上はバックデータをここで示せるぐらいにはなってほしい。この数値の根拠がわからない。</li> </ul>
町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは議決の計画ではないが報告はする。そのときに「目標数値、現状の数値はどういう設定なのか、何から拾ったのか」ということは、少なくとも担当課長が答えられないといけない。ここに直接書き込むかどうかは別にして、バックデータはしっかり持っておかなくてはならない。</li> </ul>
委員 受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員としても「これは正しいのか」ということがわからない。</li> <li>・PPAについては我々も電気代は確かに高くなると一般的には思っているが、これは環境省の書いた文章をそのまま使わせていただいている。環境省のホームページに同じように書いている。安くなっている場合もある。</li> </ul>
委員 受託者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個数が多ければ。</li> <li>・そういうことになる。大きければ大きいほど安くなることもある。環境省の文章のためあまり変えてはいけないと思い、そのままにしているが検討させていただく。</li> </ul>

## 第2回佐用町地球温暖化対策実行計画検討委員会

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実情に合わせて正確に記載していただきたい。</li> <li>・時間がないため、他にご意見等があればメールでお伝えさせていただく。今日、明日で受け付ける。年明けになると1月8日の資料には反映できないということで、大変申し訳ないがそのような処理でお願いしたい。</li> <li>・4-3 ページ、基本目標と表4-1について。町長や委員からご指摘があったため見直しは入ると思うが、基本目標は5つでよいが、その下の基本的な取組が10個以上あり、おそらくこれは並列ではなく、どこを重点的にやるのかというところがあると思う。先ほど、町長の指摘にもあったように、これはなかなか難しいのではないかと、この部分の正直なところがあると思うため、そちらも事務局で1回検討いただきたい。この基本目標1個ごとに、たとえば①が重点ということによりよいのか、何か下線を引く等、何が本当に大事なのか、見やすいように整理をお願いしたい。細かいところいろいろあるため後でメールをさせていただく。他の委員の方も何かあれば書面でお願いしたい。</li> </ul>
委員長	<p>第5章 計画の推進方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年前に稲美町でこういった実行計画を作り、地球温暖化対策協議会という形で似たような推進体制でやっているが、コーディネーターという位置付けではなく、年に1回、その進捗管理をするということで、今書かれているコーディネーターの役割を見ると、もう少し何か継続的に調整をするようなイメージで、私のような者が何か年に数回来るというレベルではないと思うため、地元でそういう人材がいらっしゃるか、できるだけ佐用に近い方がよい。できれば町内の方できちんといろいろなエネルギーの問題等をわかった上で動ける方を。少し水準は高くなるが、ある程度の目星をつけて書いておかなければ、推進体制として「書いたはよいがなかなか実現しない」ということになると思うため、ここも併せて精査していただきたい。</li> </ul>
4 その他 事務局	<p>事務局が説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の開催は2週間の1月8日午後3時からの予定。改めてご案内させていただく。</li> </ul>
5 閉会	～略～
以上	